

# 名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023年 7月 19日

学部・学科名 外国語学部 英米語学科

担当教員氏名 Philip Rush

1. 区分	中期留学 ・ 語学研修 ・ 海外実習
2. プログラム名称	2023年度英米語学科中期留学
3. 渡航先国名	ニュージーランド
4. 派遣期間	2023年 4月 14日(金) ~ 2023年 7月 9日(日) 87日間
5. 派遣先教育機関名	フィティレイア・コミュニティ・ポリテクニク
6. 参加学生数	7名
7. 派遣目的	英語を母語とするニュージーランドで、集中的に英語を学びコミュニケーション能力の向上を図るとともに、インターンシップとホームステイを通じ、現地の風土・文化に触れ、異文化理解を深める。また、卒業後の進路選択に繋がる職業上の経験を得ることを目的とする。
8. 派遣内容	9週間の語学学習を受講し語学力を高めたのち、語学学習だけでなく、そこで学んだ知識を活かしつつ、実際に海外で働くインターンシップを行う。具体的には、ホームステイをしながら最初の9週間は英語集中コースで学び、1週間インターンシップに向けた準備講座 (Hospitality Program) を受講し、その後2週間のインターンシップを行う。
9. 成果	2023年度中期留学を通し、自発的に行動し、多様性に対する理解が深まったように見受けられる。実際に帰国後の学生からのレポートでは、留学生生活を有意義に過ごすため、自ら考え行動し、積極的にコミュニケーションを取ったとの声があった。またインターンシップでは、短い期間ながらも、「何ができるか」を考えて、積極的に行動したと

	いう学生が多く、語学力の向上だけではなく自身の成長に繋がったという声があった。
10. 備考	

以上

・はじめに

今回のニュージーランドへの中期留学は、私にとって初めての海外留学でした。中学生の頃から夢にみていた留学でしたが、出国する前、私は正直楽しみな気持ちと共に、大きな不安を抱いていました。初めてのホームステイ、ニュージーランドでの生活、インターンシップなど、問題なくうまくやっていけるか心配に思うことがたくさんあったからです。しかし、留学生活がスタートすると、出国前に抱いていた不安や心配事はなくなっていました。ホストファミリーは私のことを理解し、暖かく迎え入れてくれました。初日の夜、ホストマザーは私が寂しくないようにと、犬のFelixと一緒に寝させてくれました。その気遣いと優しさがとても嬉しく、初日から居心地の良い生活を送ることができました。Felixはいつも私の側にいてくれて、留学中私の癒やしになってくれました。3ヶ月という決して長くはない限られた時間の中で様々な人と出会い、いろいろな経験をし、たくさんの思い出を作ることが出来ました。

・学校生活

学校は首都ウェリントンに位置しており、通学バスからは美しい海の景色が見えました。私は、放課後に友達とカフェに行ったり博物館に行ったり、ショッピングをしたりすることが毎日の楽しみでした。授業では、リーディングやライティング、リスニングはもちろん、ディスカッションやプレゼンテーションなどを行いました。ためになる授業ばかりで日々たくさんの学びを得ることができました。また、中国やフィリピン、インドなど他国の留学生と会話をする機会がたくさんあり、スピーキング力を向上させると共に異文化を学ぶこともできました。また、コミュニケーションを取ることの大切さと英語を話す楽しさを再確認しました。ホスピタリティクラスでは、レストランでの接客の仕方、コーヒーやカクテルの作り方、ナフキンの折り方など、インターンシップに備えて実践的な勉強をしました。礼儀やマナーについても知ることが出来て、面白かったです。いつも私たちのことを考え、寄り添ってくれた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

・インターンシップ

私はJames Cook Hotelへインターンシップに行きました。そこでは、レストランやカフェ、会議室、ルームサービスなど、わずか2週間のうちにいろいろな仕事を体験させてもらいました。具体的には、コーヒーのオーダーを取ったり、食器のバッシングをしたり、ビュッフェの準備をしたりしました。スタッフの方々はたくさん話しかけてくれ、分からないことがあったときはたくさん助けてくれました。お昼休みには、シェフが作ってくれるランチを食べさせてもらいました。カレーやパスタ、ハンバーガーなど、毎日メニューが変わるので、お昼休みの時間が好きでした。そして、カフェで一緒に働いた同い年のアルバイトの子と友達になれたことが嬉しかったです。毎日お客様と話すこともでき、私にとってはとても働きやすいインターンシップ先でした。

・終わりに

ニュージーランドにはたくさんの山や海に囲まれた美しい自然がたくさんありました。また、ニュージーランドにはとても親切でフレンドリーな人がたくさんいて、街ですれ違う人が話しかけてくれたり、バスの運転手さんとあいさつをしたり、職場ではスタッフ同士で会話をしたり、人と人とのコミュニケーションを大切にしている国なのだと思います。週末には、友達とラグビー観戦したり、映画を観に行ったり、ロトルアへ旅行に行ったりと、素敵な思い出がたくさんできました。しかし、楽しいことばかりではなく、悲しいことや辛いと感じる瞬間もあり、時には言葉の壁にぶちあたることもありました。それでも、この3ヶ月間を有意義に過ごすことができたのは、一緒にがんばってくれた仲間や応援してくれる家族の存在があったからです。ニュージーランドで過ごした時間、経験、出会った人々すべてが私にとってかけがえのない宝物になりました。私の留学生活に関わってくれたすべての人に感謝の気持ちを忘れず、これからも英語の勉強に励みたいです。

## 中期留学レポート

私はこのプログラムにインターシップが含まれているため申し込みました。授業では、4技能を勉強し、特にスピーキングに力を入れている授業があったため、プレゼンテーションやディスカッションなどチーム発表もありました。また、他の国からの留学生と合同のクラスもあり、楽しく授業を受けることができました。インターンシップでは、市内の大きな博物館とイベントセンターで働きました。館内の会議やイベントのゲストに食事や飲み物を提供するという仕事内容でした。ワーキングホリデーで来ている他の国のスタッフとも交流し、英語を喋る機会があり、仲良くなることができました。ホームステイ先は、とても親切で3ヶ月快適に過ごせました。ホストファミリーと出かけたり、ニュージーランドの文化を教えてもらったりとホストファミリーと過ごす時間が一番私にとって大きな財産になりました。この3ヶ月は長いようで夢のようにあっという間に過ぎてしまうので、自分で毎週末予定を立てたり、個人でボランティアに参加したりと英語を話す機会を作ることや挑戦も大切だと実感しました。

## 中期留学レポート

中期留学を通して英語力の向上はもちろん、英語に対するこれからの取り組み方に加え将来の夢が広がるような経験ができた。

まず英語力としてはリスニングとスピーキングの向上が大きかった。授業の中ではスピーキングを意識したものが多く、またそのトピックも現代の問題や私たちの身近な問題を取り上げてそれをディスカッションするものが多かったのでとても役に立つものであった。このおかげで自分の意見を明確に示す方法や、相手の意見に応答する方法を特に学ぶことができた。また発音の練習も取り入れられていたので、話す際にそれを意識できるようになった。リスニングはどのように向上したという明確な方法はないが、洋画を見る際や職場学習の際に強く実感した。

また、一つの習慣がこの留学中にできた。それは英語の日記を毎日書くことだ。授業をしてきていた先生に英語のライティングが苦手だということをお話したところ、英語で日記を書くことを進めてくださり、それを実行する中で英文法の間違いが少しずつ減るようになった。またスピーキングに関しても正確な語順で話せるようになった。これからも日記を書くことを継続していきたい。

さらにホスピタリティの講義と職場学習を通して、新たな夢を持つことができた。それはホテルスタッフと接客業だ。講義の中でホテル内の様々な業務を知り、また体験する中で興味を持った。職場学習では会社の中の社員食堂のような場所とカフェで働いたのだが、常連さんが名前を覚えてくださり、日常会話をすることが毎日とても楽しく、仕事に対するやる気も向上した。また初対面のお客さんとのコミュニケーションも記憶に残るほど良い思い出となった。これからインターンシップに応募し参加するにあたり、この二つの職業についても検討していきたいと思うようになった。

三か月間を通して苦しいことも少しはあったが、結果としてとても良い学習、思い出を手に入れることができた。この経験を忘れることなく、これからは生かしていきたい。

## 中期留学 レポート

三か月前の四月、帰国後の自分はどのように成長しているだろうと、期待と不安に胸を膨らませながら日本を発ったことを覚えています。その頃の自分と、三か月経った今の自分を比べると、英語力だけでなく、内面でも大きく変化した部分があるように感じます。

私は元々内気で、社交的とは言えない性格でしたが、現地に行って痛感したのは、「行動した者勝ち」であるということです。現地に到着したばかりの頃は、自分の性格ゆえになかなか積極的に行動することが出来ませんでした。また、午前中の授業が日本人のみで行われていたこともあり、現地の人たちと上手く関わる事が出来ないのを環境のせいにしていた部分もありました。そのようなとき、一人の友人に、他大学のクラブサークルに誘われたため参加したところ、そこでたくさんの友人を作ることが出来ました。自分が今いる環境を変えることに限界はあっても、別の新しい環境を探して、そこに入って行くことで、より有意義な時間を過ごすことが出来るのだと気が付きました。その後は、そのサークルだけでなく、趣味であるダンスのレッスンに参加したりするなど、新しい環境に自ら挑戦するようになりました。そしてその結果、国籍問わず、非常にたくさんの人と関わる事が出来ました。

この積極性の重要さは、インターンシップの間でも何度も実感しました。私はInternational Hotelで、コンシェルジュやカフェ、キッチン等、様々な部署で働きました。特に印象に残っているのが、ロビーにあるカフェで働いた時のことです。私は、注文を取ったり商品を運んだりするサーバーとして働きました。最初はお客様の英語を聞き取るのに苦労し、スムーズなコミュニケーションが取れなかったこともありましたが、過去に学んだ積極性を大切に、自分に出来ることは精一杯やろうと努めました。長時間滞在しているお客様にお水をご用意したり、積極的にコミュニケーションを取ろうとしたりすることで、お客様に喜んで頂けることが増え、自分の行動に自信を持つことが出来るようになりました。そして、例えば、接客業においてふさわしい丁寧な表現や完璧な英語が話せなかったとしても、常に相手の立場になって考え、自ら行動することによって、誰に対しても期待以上のサービスを提供することが可能なのだと強く実感しました。

三か月という長いようで短い期間でしたが、自ら行動することによって、人生の財産となる時間を過ごすことが出来ました。今後も挑戦を恐れず、積極性を大切に過ごしていきたいです。